

柧の木からの手紙

2016年 3月号

3 月 弥 生						
月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4日： 美幌会定期総会

しゃきっとプラザ 10時～12時

講演： こころの健康 （まち育出前講座から）

5日： 啓蟄

9日： 新月 ： 旧2月 1日

部分日食（10時頃～12時頃）

20日： 春分の日

2月が逃げ、草木がいよいよ芽吹き始める3月弥生。北海道ではまだまだ雪に覆われていますが、農作業は既に始まっています。3月に去られぬ様しっかりと自然界の流れに乗りたいものです。

3月 4日（金）しゃきっとプラザで 10時から美幌会総会を開きます。講演では、まち育出前講座「こころの健康」から私たちの年代に合ったお話をして頂ける予定です。是非「きょうよう」を身に付けるチャンスと捉えてご参加下さい。

立春を境に光が変わるといふ2月。身近な人が次々に旅立って逝かれました。

ここでちょっと岡田茂吉氏の世界に触れてみましょう。

「…宇宙に於ける森羅万象一切は、日・月・地の三大元素から成っている。日は太陽、火素の根源。月は月球、水素。地は地球、土素である。そしてこの火・水・土の三元素が殆ど想像もつかない程の微粒原子として経（たて）と緯（よこ）に流動交錯密合して活動しているのが宇宙の実態である。そして、火水土の三元素と雖も体と霊の両面から成り、火素の体は光と熱。水素の体は水。土素の体は窒素であるが、それぞれの霊は未発見である。この三元素の未発見の霊が抱合一体となって生れたものがXである。この無にして有であるXこそが万物の生命力の根源でもある。

地球上に於ける実世界は、空間と物質との存在であって、物質は人間の五感によってその存在を知り得る。空間は長い間無とされていたが、空気なる半物質が存在するところまで理解されるに至った。しかし、空気だけと思っていた空間にもう一つの元素、火素（霊気）が存在していることはまだ、気付かれていない。

本来、天地間あらゆる森羅万象は、霊界と現界との両面の活動によって生成化育し破壊し創造しつつ限りなき発展を遂げつつある。しかし、現界に於ける現体が老衰又は病気・負傷・出血等により使用不能に至った時、霊と体は分離する。それが死である。故に死とは現体から霊体が離脱することである。そうして霊体は霊界に帰属し或る時期を経て再生し、現体は腐朽し土に還元する…。」
仏語の中に「往生」・「生前」という言葉がありますが、正に霊界での「生」を表している様です。

さて

2月1日 森のイスキアを主宰する カトリックの佐藤 初女さんが死去

2月5日 MOAの Nさん

2月6日 バプテスト教会のS氏

2月7日 MOAの Yさん

通夜の席で住職は、沢山のお孫さんが見えられている事にたいして、核家族の多い時代、幼い頃から人の死について接する事で、故人はお孫さんたちに、大切な生きる事を伝えてくれている。また、次の句を紹介してこのころの大切さを話してくれました。

幕末の時代 長州藩士 高杉 晋作が病床にて辞世の上の句を詠み下の句を詠みあぐねていると

面白き ことも無き世を 面白く

看病をしていた 野村 望東尼 が下の句を次の様に詠み加え、それを聞いて高杉は亡くなった。

住みなすものは ころなりけり

また、次の様な「きょういく」の機会に勝手に参加しました。行く所が在って良かった。

2月 1日(月) 高齢者と障がい者がともにたすけあえるまちづくりを目指して

テーマ： 地域に新たなつながりをつくる

場所： しゃきつとぷらざ

2月 8日(月) 平成27年度 議会報告会・意見交換会

場所： しゃきつとぷらざ

2月 10日(水) TPPの大筋合意内容と懸念事項について

場所： JA美幌

2月 12日(金) 参議院議員 水おち 敏栄 氏 意見交換会

場所： MOA美幌

統合医療を推進する水おち氏の意見交換会に際し、それぞれに多忙の中参加された方々に感謝いたします。特に、医療・介護における町やグループホームの現状や問題を日本政府中央へ届けるチャンスとして捉えて参加頂いた町長・グループホームの経営者の方には、熱い思いを伝えて頂きありがとうございました。

2月 13日(土) びほーるギャラリーコンサート 星空音楽会

場所： びほーる

初めてのギャラリーコンサート。円舘氏の星空の投影に関心があり参加しましたが、思いに反して参加者は満員状態で、多くの親子連れから年配の方まで50名近くいたのではないのでしょうか。エレクトーンとサクスの演奏も星空の投影にマッチしていて感動しました。また、「美幌」という名前のついた小惑星の存在を初めて知りました。

「 おいるショック 」

40数年前、私が中学生の時、オイルショックが起こりトイレットペーパー等の買占めが起きた記憶が在る。水おち氏と共に遣って来た明社会の大川氏の挨拶の中で「おいるショック」の話を聞いた。

今回の「おいるショック」への対応策は自分自身で努力する事に尽きます。ポイントは5点。

- ・あ まえない事
- ・り くつを言わない事
- ・が を張らない事
- ・と くい顔をしない事
- ・う そをつかない事

そして、究極は感謝の気持ちを言葉と態度で表し 「ありがとう」。私も誰しもいづれ通る道。

住みなすものは ころなりけり